

第1章 調査の概要

1 調査の名称

生涯学習に関する県民の意識調査

2 調査の趣旨

青森県教育委員会教育長から諮問された内容の1つである「多様な人々のつながりと新しい技術の活用による生涯学習・社会教育の推進」について、コロナ禍にある現在の県民の意識の変化や現状を知るために平成27年度に実施された「学習活動に関する県民の意識調査」を基にその後の変化について考察する。また、オンラインやICT (Information and Communication Technology) など、新たな学びの現状を把握するとともに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により県民の生涯学習がどのように影響を受けたのかを明らかにすることで、これからの新しい時代の生涯学習・社会教育推進のための施策の企画立案に資することを目的とする。

3 調査対象

一般県民のうち20歳から79歳以下 3,000人

4 調査方法

全市町村の住民基本台帳から20歳以上79歳以下の県民を抽出し、人口比に応じて配分した人数を等間隔で抽出する。なお、調査票の印刷・発送・回収、調査結果の集計業務は、業者委託により実施した。

- ・調査業務委託先 株式会社サンブラッソ・エイティープイ
- ・調査票の発送 令和3年7月20日
- ・回答期限 令和3年8月6日

5 回収結果

有効回答数(率) : 843 (28.10%)

調査不能数(率) : 2,157 (71.90%)

不能内訳 住所不明 23人(1.07%)、回答辞退連絡 3人(0.14%)、白紙回答 0人(0%)
無反応 2,131人(98.79%)

6 研究顧問

- ・柏谷 至 氏 (青森大学社会学部 教授)
- ・越村 康英 氏 (弘前大学教育学部 准教授)

7 過去調査の概要

- ・調査の名称 学習活動に関する県民の意識調査
- ・調査対象 20歳以上70歳未満の一般県民 3,000人
- ・実施主体 青森県教育委員会
- ・実施時期 平成28年1月20日～2月3日
- ・回収結果 有効回答数(率)…877人(29.23%)

第2章 調査結果

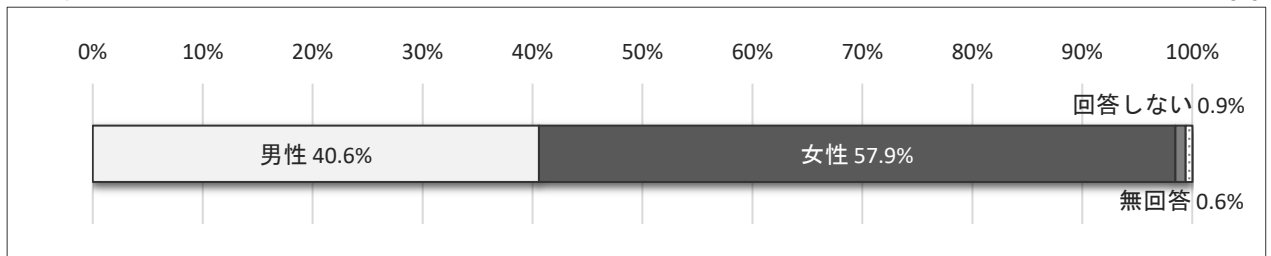
1 調査結果の見方

- ・グラフ中の「n=」は、質問に対する回答者数を表している。
- ・結果数値（パーセント）は、小数点第2位を四捨五入しており、合計が100%にならないこともある。

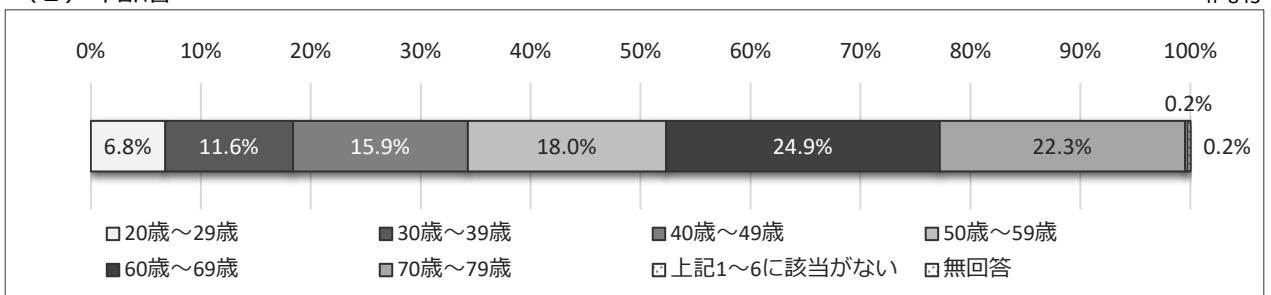
2 調査回答者の属性

問1 あなたの性別と年齢層及びお住まいの地域について教えてください。

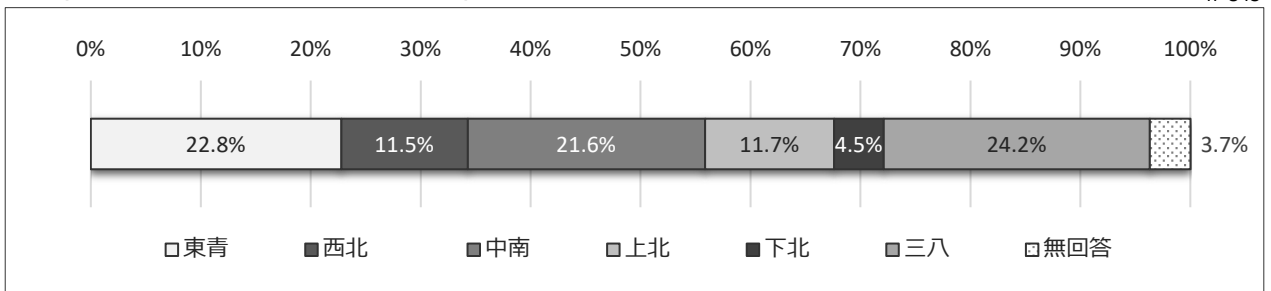
(1) 性別



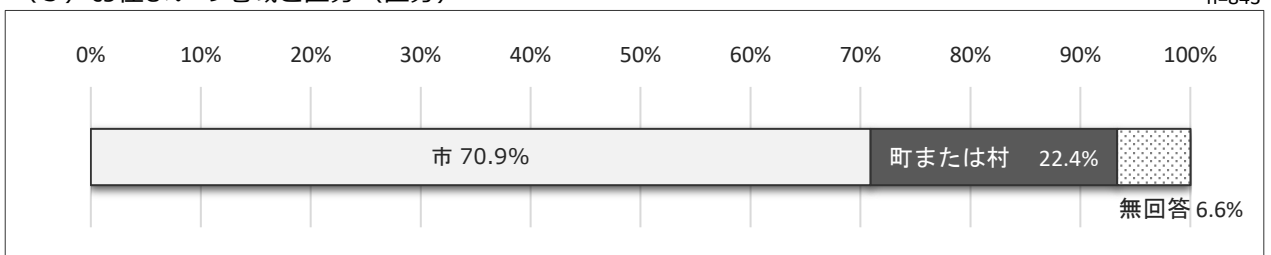
(2) 年齢層



(3) お住まいの地域と区分（地区名）

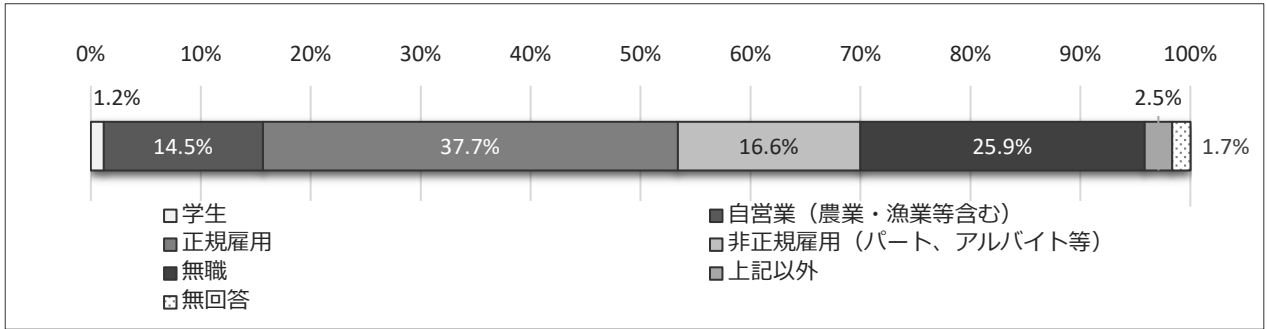


(3) お住まいの地域と区分（区分）



問2 あなたの仕事と最後に卒業した学校について教えてください。（仕事について）

n=843

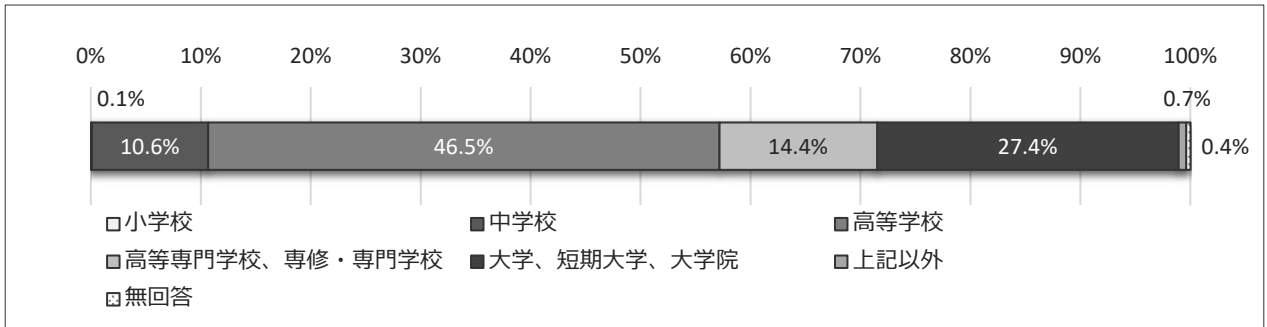


上記以外

・会社役員（5名）・非常勤役員 ・不動産貸付 ・役員 ・就労支援B型 ・あづまーる

あなたの仕事と最後に卒業した学校について教えてください。（最後に卒業した学校）

n=843



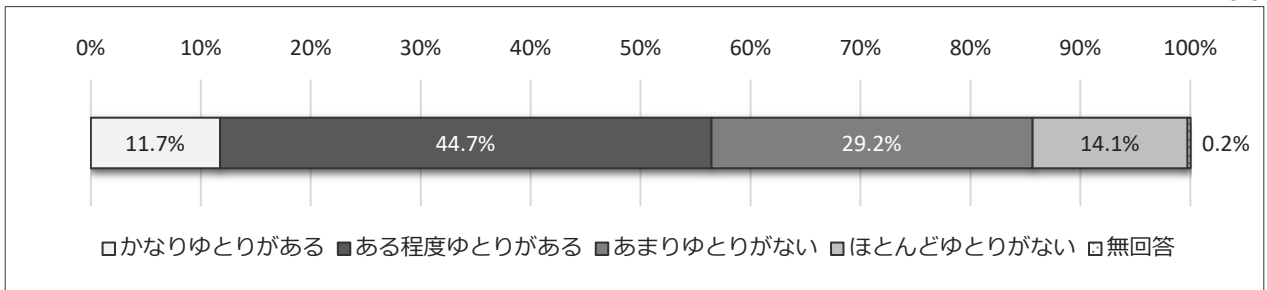
上記以外

・養護学校

3 学習活動の状況、意欲、希望

あなたは、現在好きなことをする時間的、経済的なゆとりがありますか？（時間的なゆとり）

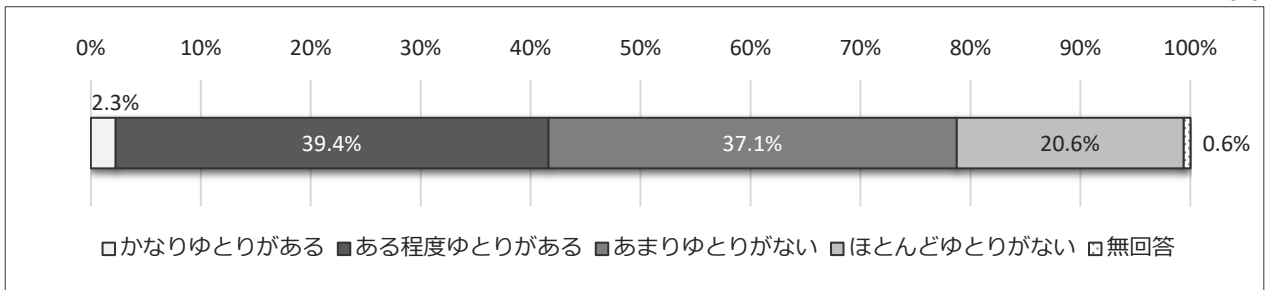
n=843



時間的なゆとりについては、「かなりゆとりがある」と「ある程度ゆとりがある」を合わせると56.4%が「ゆとりがある」と回答している。一方、「あまりゆとりがない」と「ほとんどゆとりがない」を合わせると43.3%が「ゆとりがない」と回答している。

あなたは、現在好きなことをする時間的、経済的なゆとりがありますか？（経済的なゆとり）

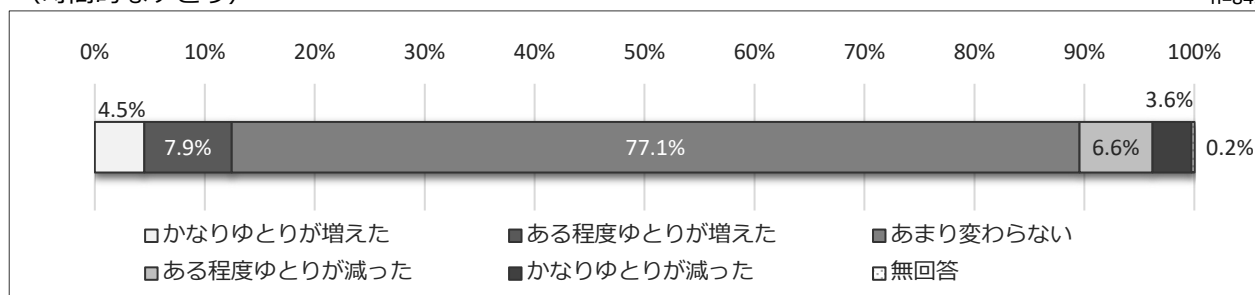
n=843



経済的なゆとりについては、「あまりゆとりがない」と「ほとんどゆとりがない」を合わせると57.7%が「ゆとりがない」と回答している。一方、「かなりゆとりがある」と「ある程度ゆとりがある」を合わせると41.7%が「ゆとりがある」と回答している。

問4 新型コロナウイルス感染症の拡大前に比べて、時間的、経済的なゆとりは変わりましたか？
(時間的なゆとり)

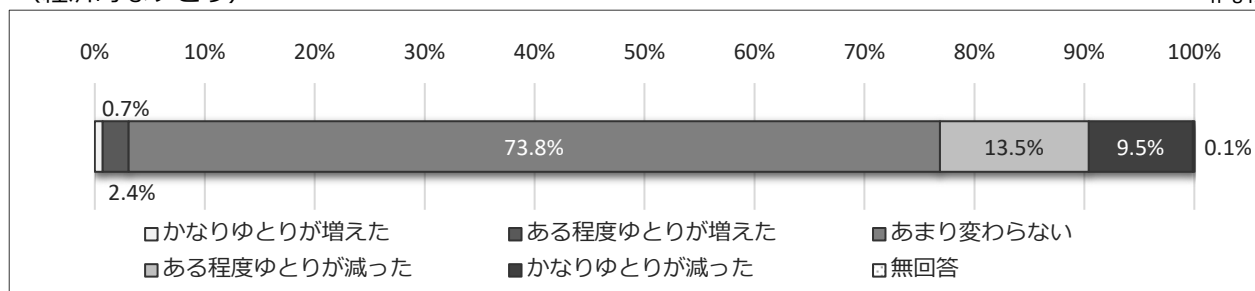
n=843



新型コロナウイルス感染症の拡大前と比べ、時間的なゆとりの変化を聞いたところ、「あまり変わらない」が77.1%と最も多い。

新型コロナウイルス感染症の拡大前に比べて、時間的、経済的なゆとりは変わりましたか？
(経済的なゆとり)

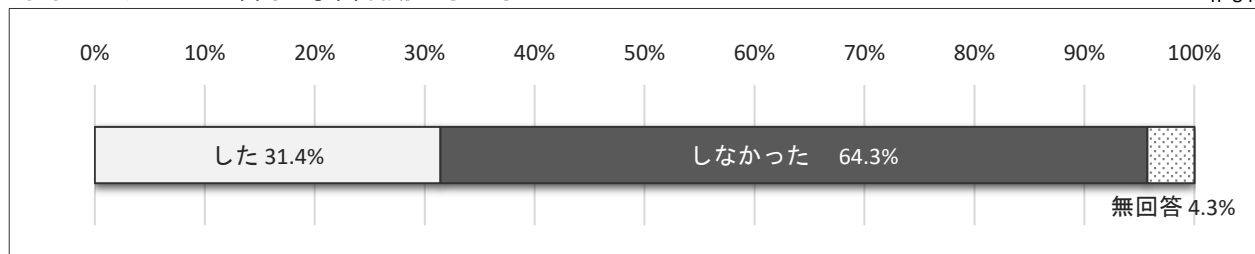
n=843



新型コロナウイルス感染症の拡大前と比べ、経済的なゆとりの変化を聞いたところ、「あまり変わらない」が73.8%と最も多い。

問5 あなたは、この1年間に学習活動をしましたか？

n=843

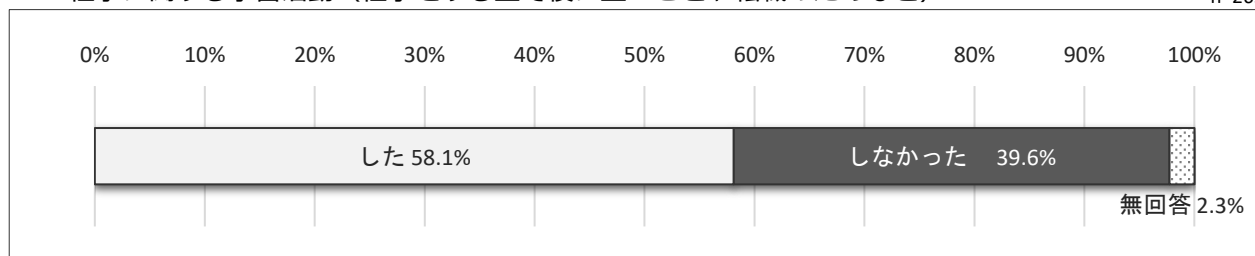


この1年間に学習活動をしたか聞いたところ、「しなかった」が64.3%、「した」が31.4%であった。

問6 次の1から5のそれぞれの分野ごとにお答えください。

1 仕事に関する学習活動（仕事をする上で役に立つことや転職のためなど）

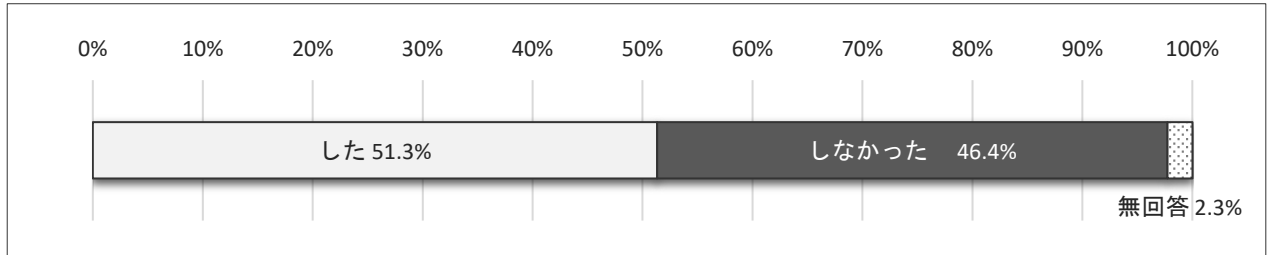
n=265



問5で「した」と回答した方に、仕事に関する学習活動の有無を聞いたところ、「した」が58.1%、「しなかった」が39.6%であった。

2 趣味に関する学習活動（習い事や練習、スポーツなど）

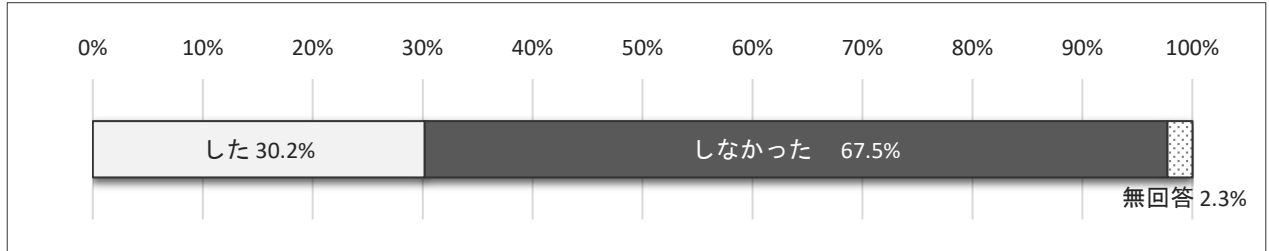
n=265



問5で「した」と回答した方に、趣味に関する学習活動の有無を聞いたところ、「した」が51.3%、「しなかった」が46.4%であった。

3 生活に関する学習活動（料理教室や健康、子育てに関することなど）

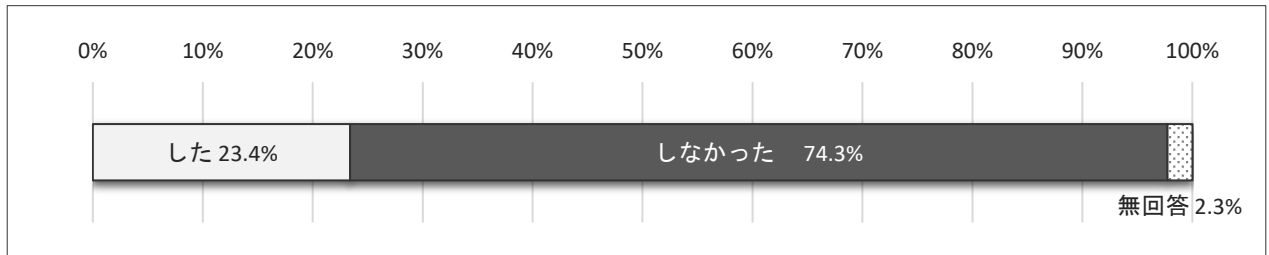
n=265



問5で「した」と回答した方に、生活に関する学習活動の有無を聞いたところ、「しなかった」が67.5%、「した」が30.2%であった。

4 社会貢献やボランティアに関する学習活動（地域の行事や子ども、障害者との交流など）

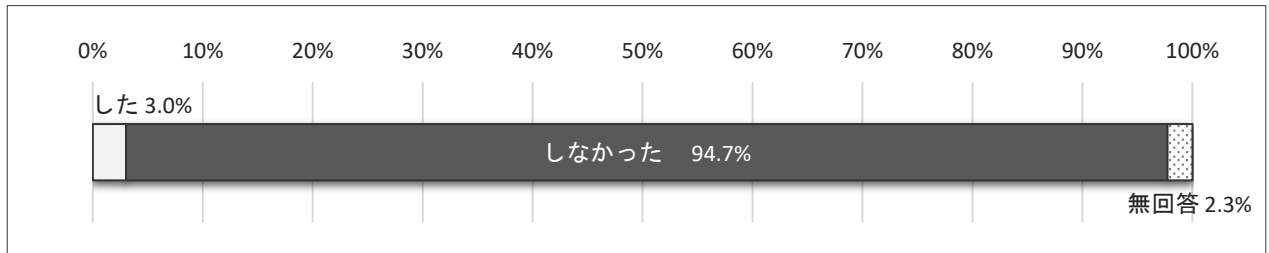
n=265



問5で「した」と回答した方に、社会貢献やボランティアに関する学習活動の有無を聞いたところ、「しなかった」が74.3%、「した」が23.4%であった。

5 その他

n=265



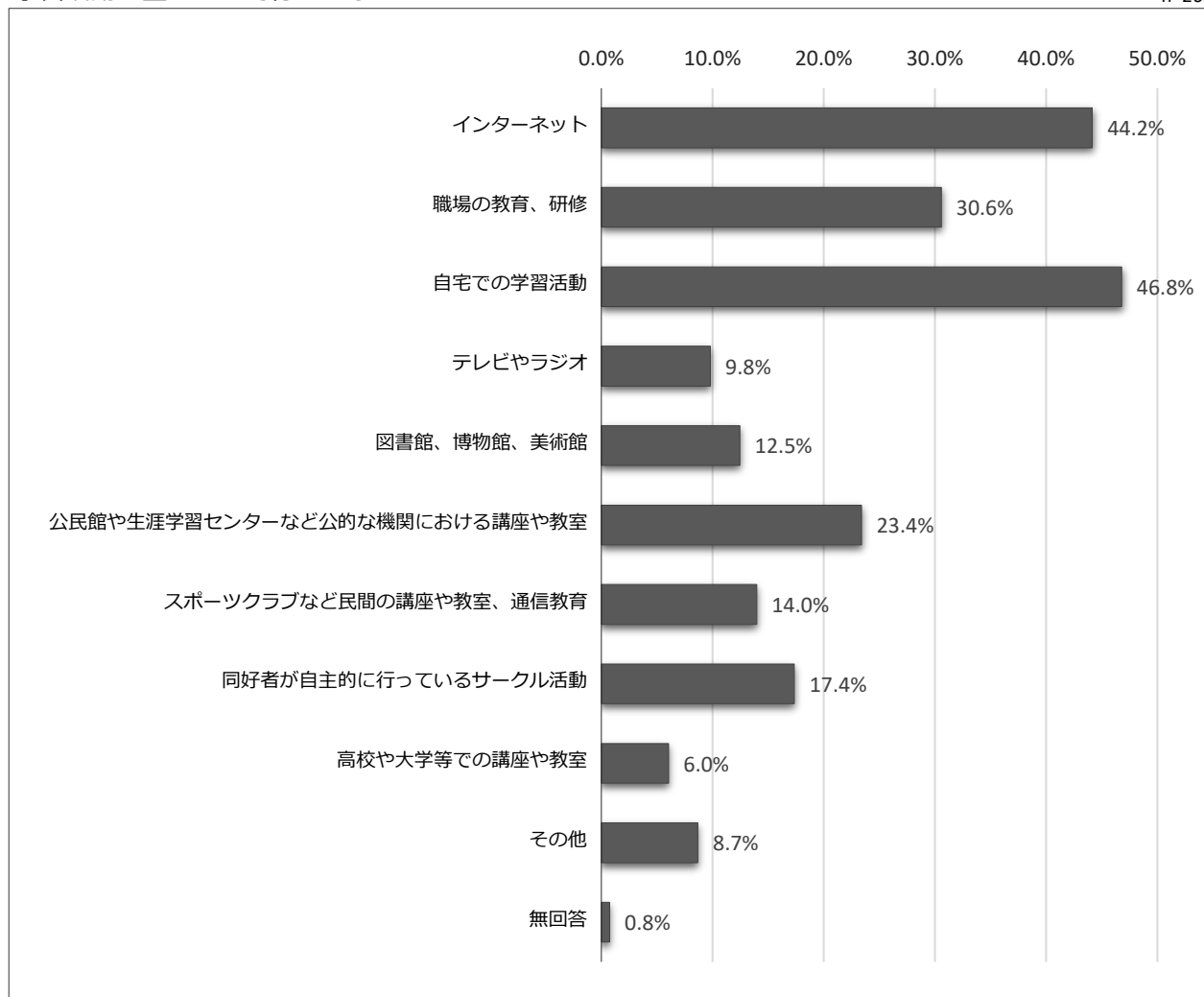
その他

・創作作家活動のため ・野菜作りに関して、日々勉強しています ・仏教についての講義 ・英語学習 ・スマホの使い方 ・特になし

問5で「した」と回答した方に、その他の学習活動の有無を聞いたところ、「しなかった」が94.7%であった。

問7 学習活動は主にどこで行いましたか？

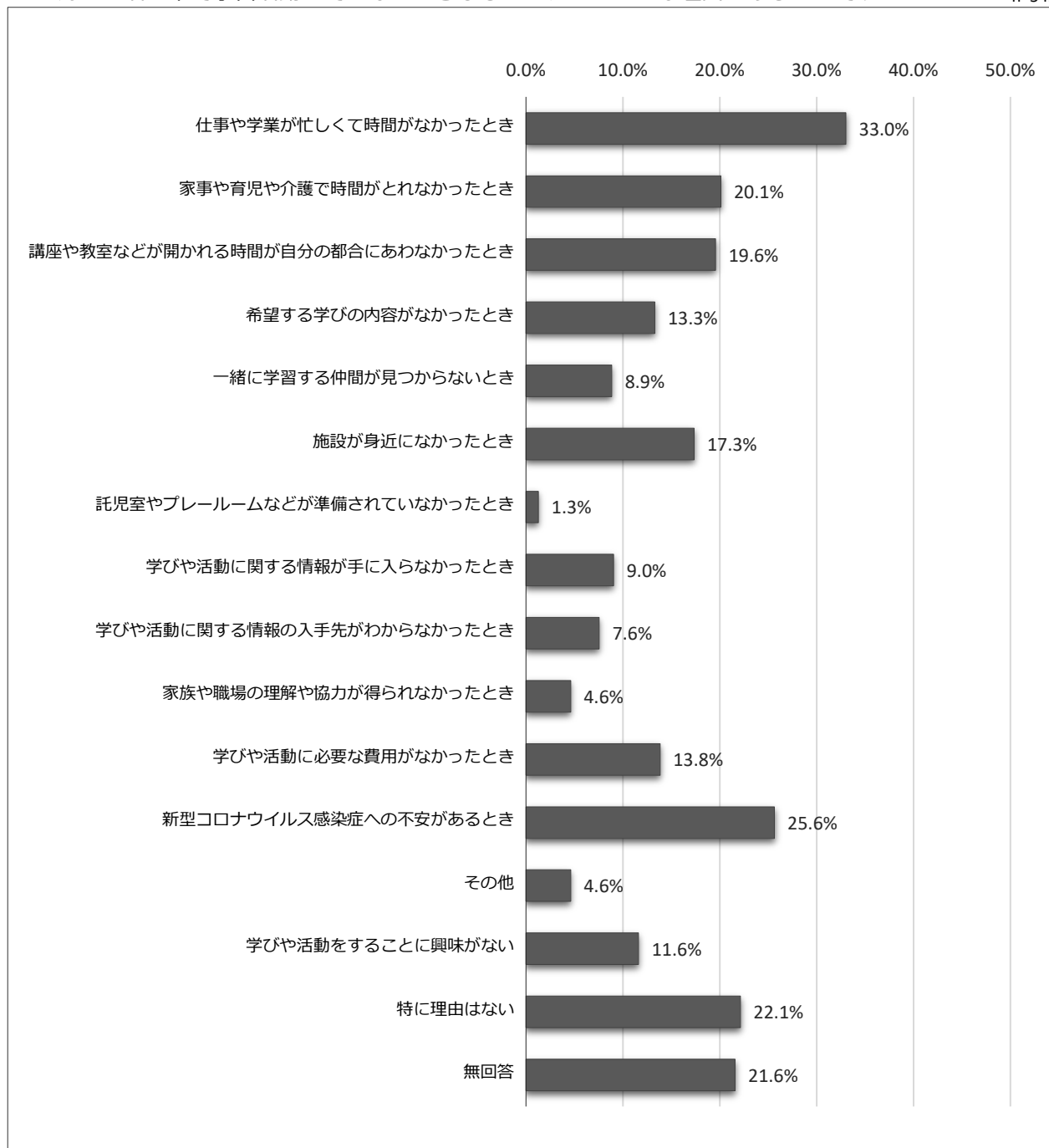
n=265



問5で「した」と回答した方に、学習活動は主にどこで行なったかを聞いたところ、「自宅での学習活動」が46.8%と最も多く、「インターネット」が44.2%と次いだ。

問8 ふだんの生活の中で学習活動ができないと感じるのは、どのような理由があるときですか？

n=542



その他

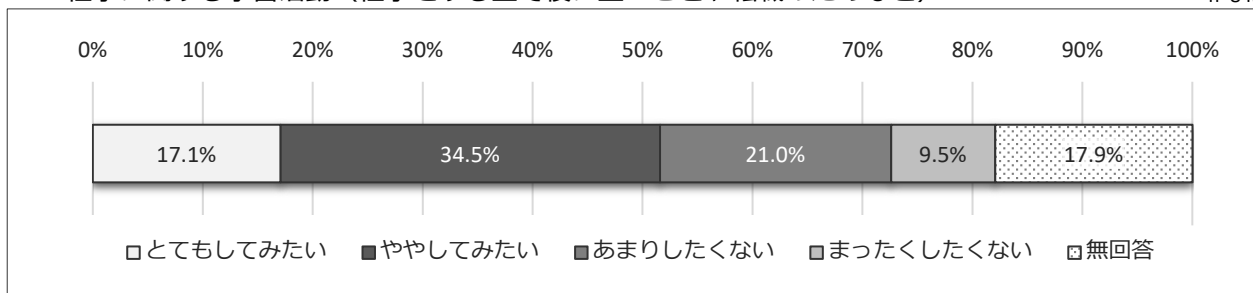
・病気があるため（3名）・長年病気してしまった ・入院が続いたため ・健康上の事由 ・足、腰が悪くてできません ・うつ病のため ・パーキンソン病のため ・身体障害だから ・体力的に自信がない、術後だから ・移動手段がない ・学習活動をする気持ちの余裕がないため ・意欲の欠如 ・関心がなかった ・団体行動を好まない ・年齢的なもの ・公的教室が利用できない時 ・里帰り出産で孫2人と娘の面倒を4か月見ていたから ・リタイヤ後にやろうと考えている ・韓国ドラマ ・子どもを誰かに預けてまで自分の趣味をすることへの罪悪感と周りの目。自分が子どものことより自分のことを優先していいのか？という葛藤があります。

問5で「しなかった」と回答した方に、ふだんの生活の中で学習活動ができないと感じる理由を聞いたところ、「仕事や家業が忙しくて時間がなかったとき」が33.0%と最も多く、「新型コロナウイルス感染症への不安があるとき」が25.6%と次いだ。

問9 あなたが今後、学習活動をする場合、次の1から4のそれぞれについて、どの程度関心がありますか？

1 仕事に関する学習活動（仕事をする上で役に立つことや転職のためなど）

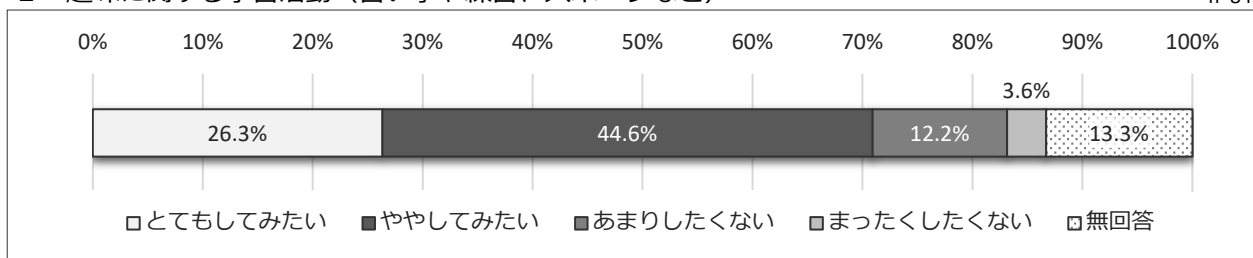
n=843



仕事に関する学習活動への関心度を聞いたところ、「とてもしてみたい」と「ややしてみたい」を合わせると51.6%が「してみたい」と回答している。

2 趣味に関する学習活動（習い事や練習、スポーツなど）

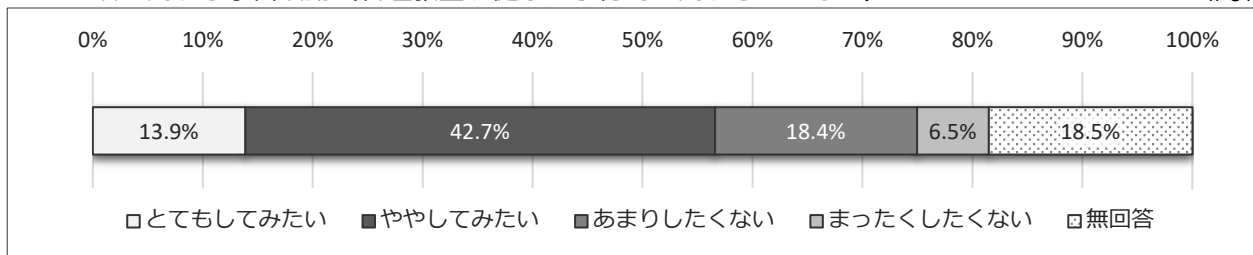
n=843



趣味に関する学習活動への関心度を聞いたところ、「とてもしてみたい」と「ややしてみたい」を合わせると70.9%が「してみたい」と回答している。

3 生活に関する学習活動（料理教室や健康、子育てに関することなど）

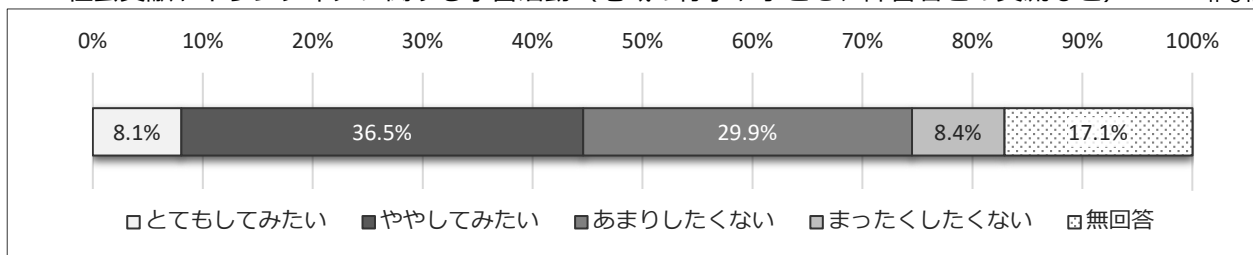
n=843



生活に関する学習活動への関心度を聞いたところ、「とてもしてみたい」と「ややしてみたい」を合わせると56.6%が「してみたい」と回答している。

4 社会貢献やボランティアに関する学習活動（地域の行事や子ども、障害者との交流など）

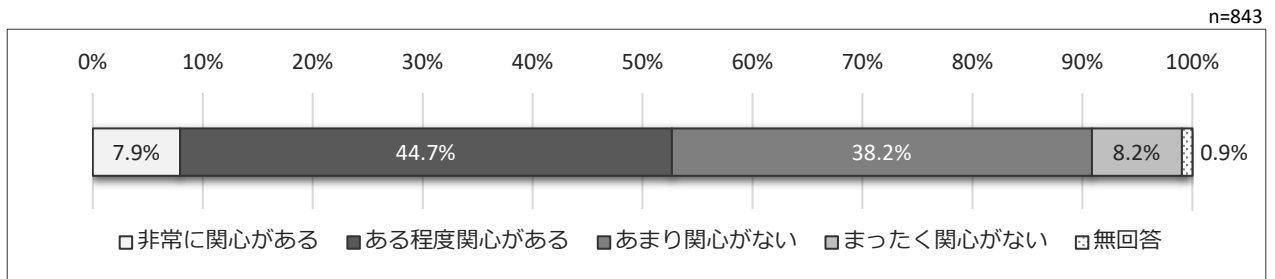
n=843



社会貢献やボランティアに関する学習活動への関心度を聞いたところ、「とてもしてみたい」と「ややしてみたい」を合わせると44.6%が「してみたい」と回答している。一方、「あまりしたくない」と「まったくしたくない」を合わせると38.3%が「したくない」と回答している。

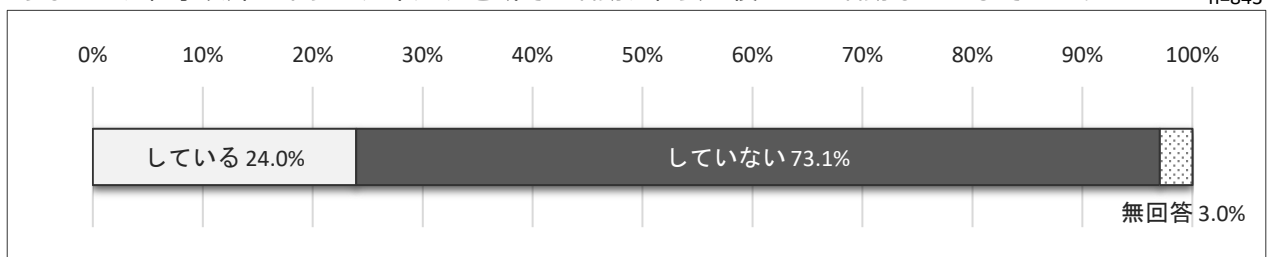
4 地域活動、社会貢献活動、ボランティア活動の状況

問10 あなたは、仕事以外のボランティアや地域での活動、社会の役に立つ活動などに関心がありますか？



仕事以外のボランティアや地域での活動、社会の役に立つ活動への関心度を聞いたところ、「非常に興味がある」と「ある程度興味がある」を合わせると52.6%が「関心がある」と回答している。

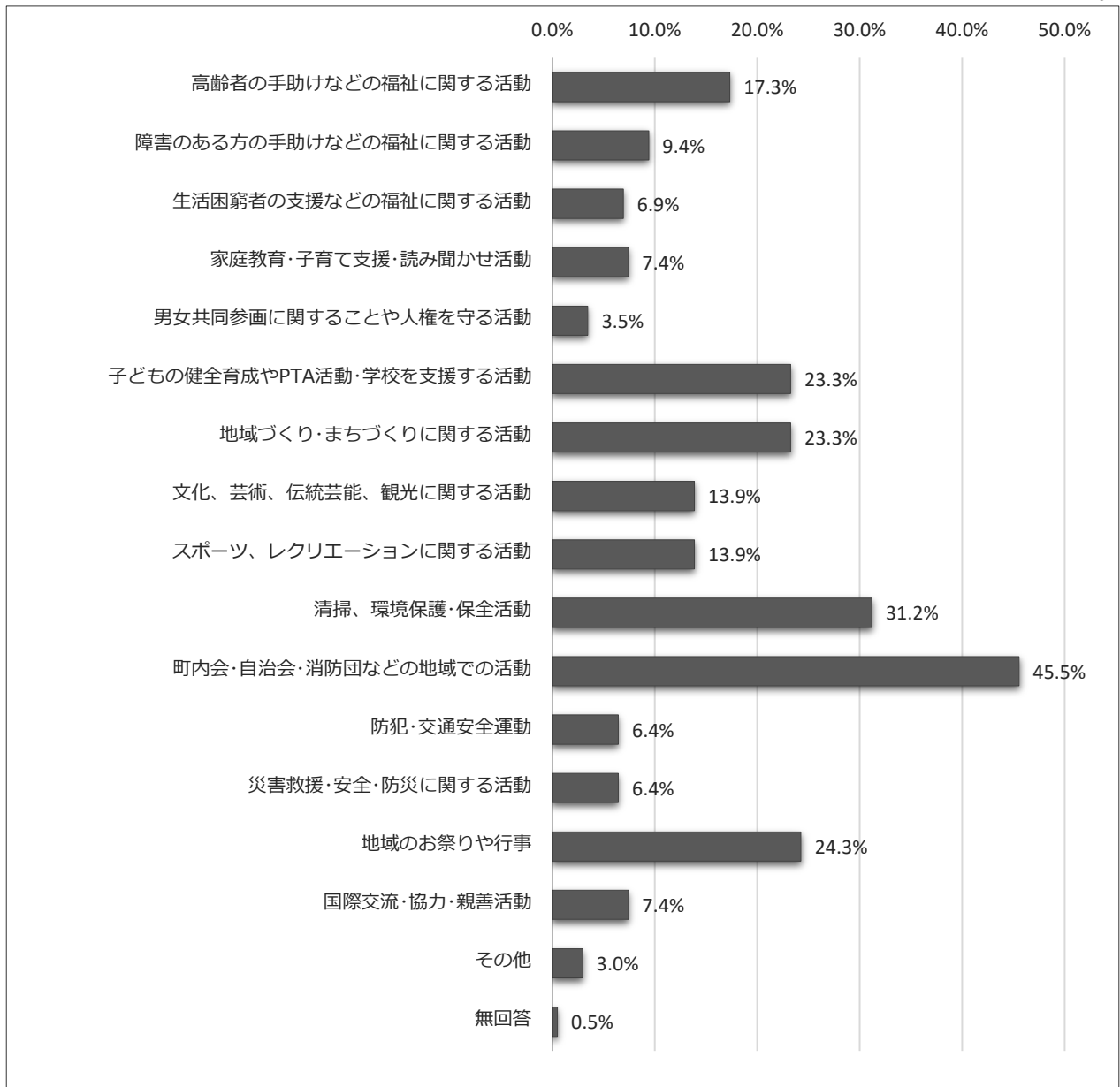
問11 あなたは、仕事以外のボランティアや地域での活動、社会の役に立つ活動などをしていますか？



仕事以外のボランティアや地域での活動、社会の役に立つ活動をしているか聞いたところ、「していない」が73.1%、「している」が24.0%であった。

問12 あなたは、仕事以外で、どのようなボランティアや地域での活動、社会の役に立つ活動をしていますか？

n=202

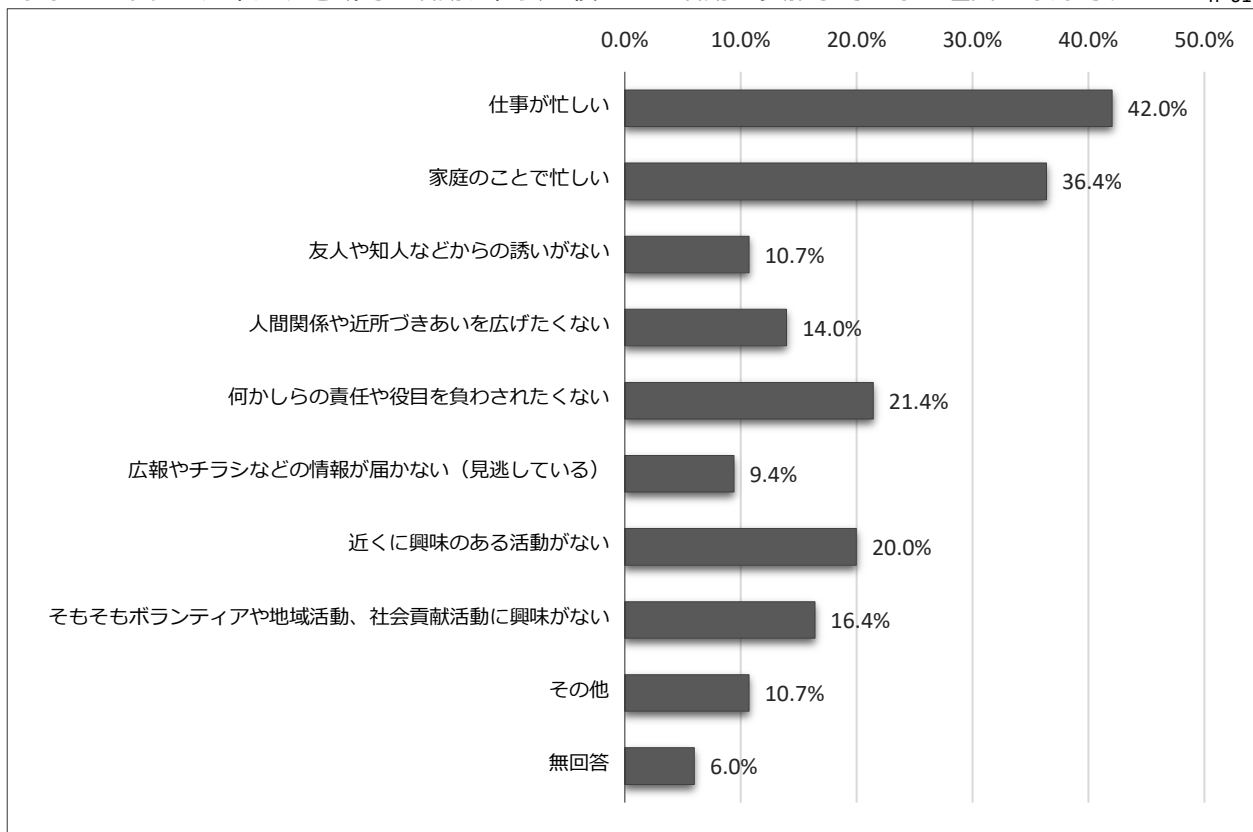


その他

・百歳体操で健康づくり活動 ・献血 ・老人クラブ ・第2種社会福祉法人、保育園 ・PLANインターナショナルへの寄付

問11で「している」と回答した方に、仕事以外で、どのようなボランティアや地域での活動、社会の役に立つ活動をしているか聞いたところ、「町内会・自治会・消防団などの地域での活動」が45.5%と最も多く、「清掃、環境保護・保全活動」が31.2%と次いだ。

問13 あなたがボランティアや地域での活動、社会の役に立つ活動に参加していない理由はなんですか？ n=616



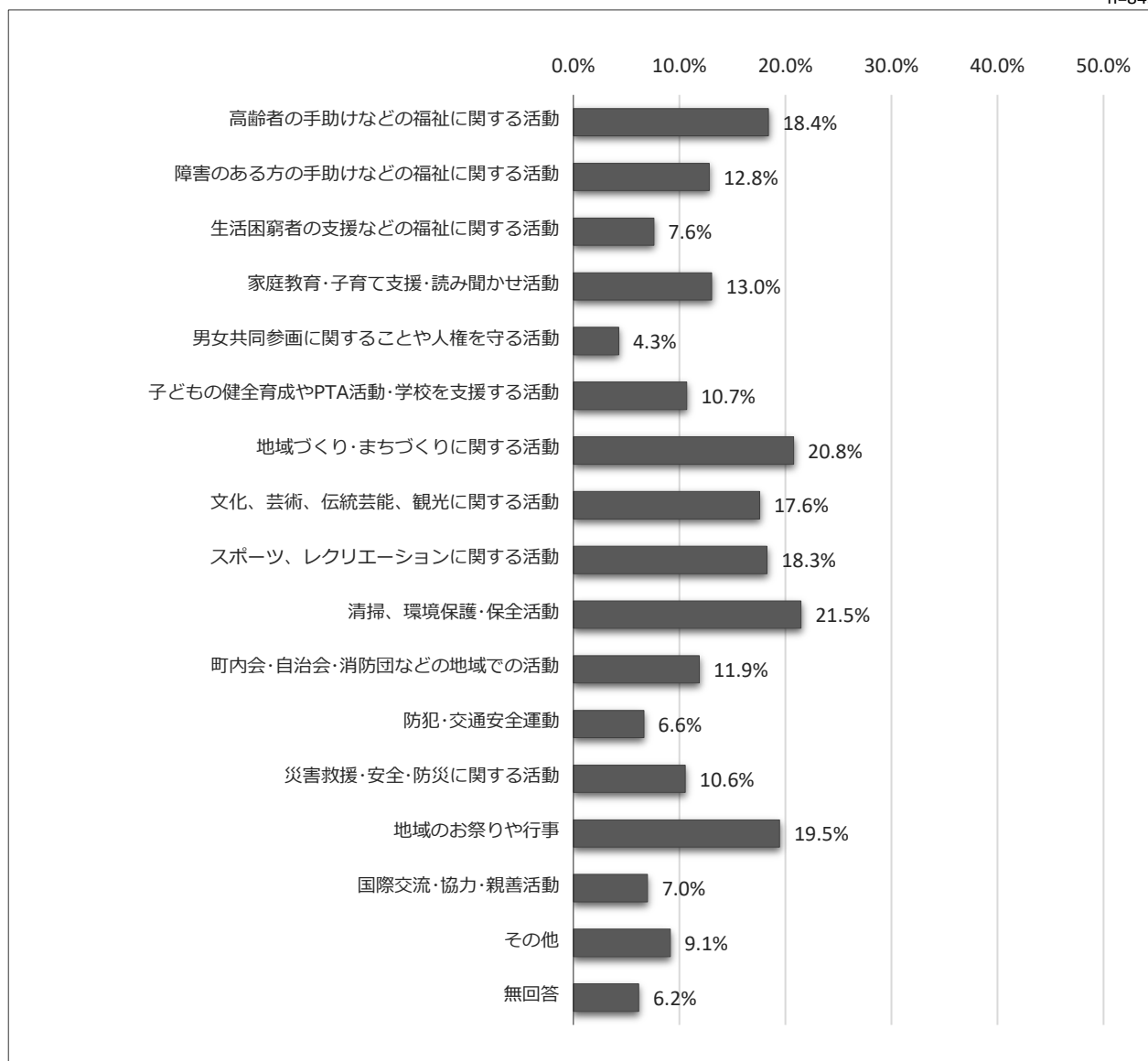
その他

・体力がない（4名）・病気のため（3名）・体調が悪い（3名） ・障害があるから（2名） ・パーキンソン病のため（2名）・病院通い ・病気なので会う人にやさしくする ・病気の回復の見通し
 がつかない ・足腰悪くて活動できない ・健康上の問題 ・病気を抱えているため体力的に自信が
 なく、家庭のことで精一杯です ・心臓疾患がある ・自分の膝が悪く、手術や治療のため ・現
 在、歩けないため ・身体が人のためにまで持たない ・高齢のため、思うように仕事ができない
 ・高齢のためと思われる ・曜日とか時間が合わない ・①②+自分の趣味で体力的にゆとりがない
 ・70歳過ぎたから ・家族が参加している ・金がもらえないのに誰かのために活動したくない ・
 貰える場合でも労力に見合った額ではないことが多い ・収入にならない ・コロナで人の集まる所
 へ参加できない ・新型コロナウイルス感染が怖い ・何の物にも気を使いたくない ・この地域に
 来て10年ほどですがまだ地域の中に入っていき勇気がない ・仕事がボランティアのようなものだ
 と感じているから ・仕事で疲れている ・仕事も同様のため、継続したくない ・自分のことに優先
 して時間と金を使いたい ・自分の世話もできないのに、他人の世話ができるわけがないから ・情
 報がない ・社会貢献活動には興味はあるが状況が分からない。 ・勉強が優先→資格を取るまで
 ・そういった活動は土曜日や平日にやっているイメージがあり、学生にとっては講義を優先しないと
 いけないため、参加したくても時間が合わない ・年齢に見合った活動が少ない ・年齢層に応じて
 活動を変化させてほしい。 ・若い頃やったけど無駄だった ・若い時にしていたので今は休んでい
 る ・どこでボランティアができるのか分からない ・積極的には探していない ・何が行われてい
 るか分からない ・生活困窮と独り身のため ・年齢と家庭の事情で時間が取れない ・離れている
 ところに病人居るので様子を見に行っていた ・人との関わりが怖い ・日々の生活でいっぱいなの
 に、その他を考える余裕な気持ちがない ・ボランティア活動の意義が分からない ・前はボラン
 ティアをしていたが、やめた ・まず国、地方自治体がやるべき、その次がボランティアだと思
 う。ボランティアに頼りすぎませんか？怪我をしたら責任は？ ・特になし

問11で「していない」と回答した方に、ボランティアや地域での活動、社会の役に立つ活動に参加していない理由を聞いたところ、「仕事が忙しい」が42.0%と最も多く、「家庭のことで忙しい」が36.4%と次いだ。

問14 あなたは 今後どのようなボランティアや地域での活動、社会の役に立つ活動に参加してみたいですか？

n=843



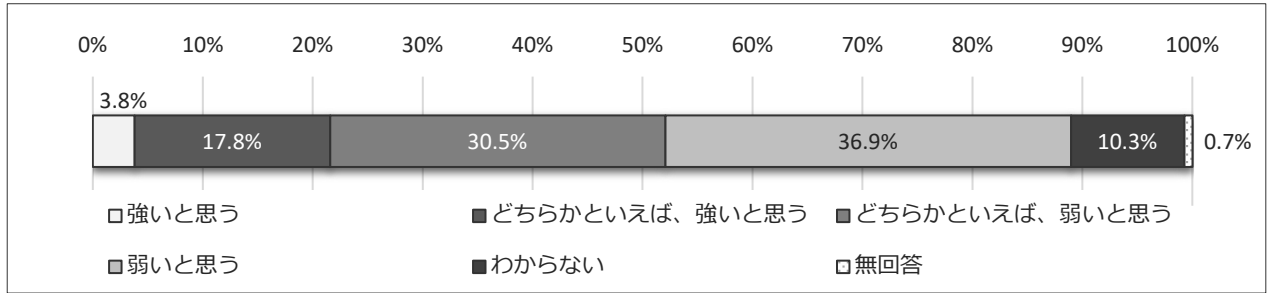
その他

・動物保護（4名） ・興味なし（2名） ・興味なし、体が動かない ・健康に自信がない ・健康面、経済面の不安がなければ可 ・足腰悪くて活動できない ・健康教室など・持病あり、参加したくてもできない ・体力がない・高齢のため、なし ・高齢のため活動は無理かな ・自分が高齢者だから何もできない ・地域、猫活動 ・インターネット関連を教える学習会 ・自宅の一部に地域等の休養スペースを作る ・ペットボトルのキャップを集める。古着をワクチンにする活動に参加。
 ・他の人に病気の共有アドバイスなど、思いやり ・町内会の清掃など ・老人クラブ ・これ！というのがないが、地域や社会の役に立ちたいな...と思う ・外出そのものが苦手です ・家庭の仕事で忙しい。時間的余裕がない ・コロナになって生活が大変で自分のことで精一杯です ・人間関係がわずらわしい ・人とコミュニケーションできない ・時間的にない ・仕事上できない ・したいと思わない（申し訳ないが） ・したいと思わない ・しない ・したくない（3名） ・参加したくない（2名） ・特になし（16名）

今後どのようなボランティアや地域での活動、社会の役に立つ活動に参加してみたいか聞いたところ、「清掃、環境保護・保全活動」が21.5%と最も多く、「地域づくり・まちづくりに関する活動」が20.8%と次いだ。

問15 あなたは、自分と地域の人たちとのつながりは強いと思いますか？

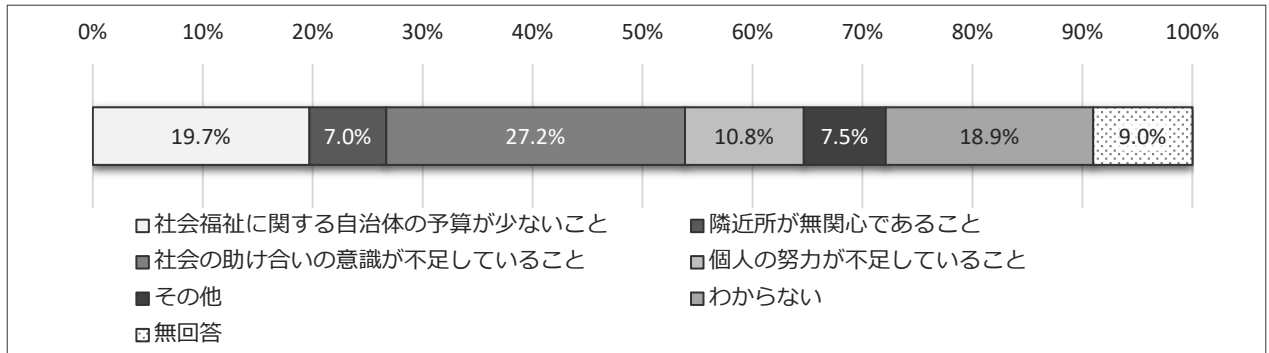
n=843



自分と地域の人たちとのつながりの強さを聞いたところ、「どちらかといえば、弱いと思う」と「弱いと思う」を合わせると67.4%が「弱い」と回答している。

問16 あなたは、貧しい人や弱い立場の人がなくなる原因は何だと考えますか？

n=843



その他

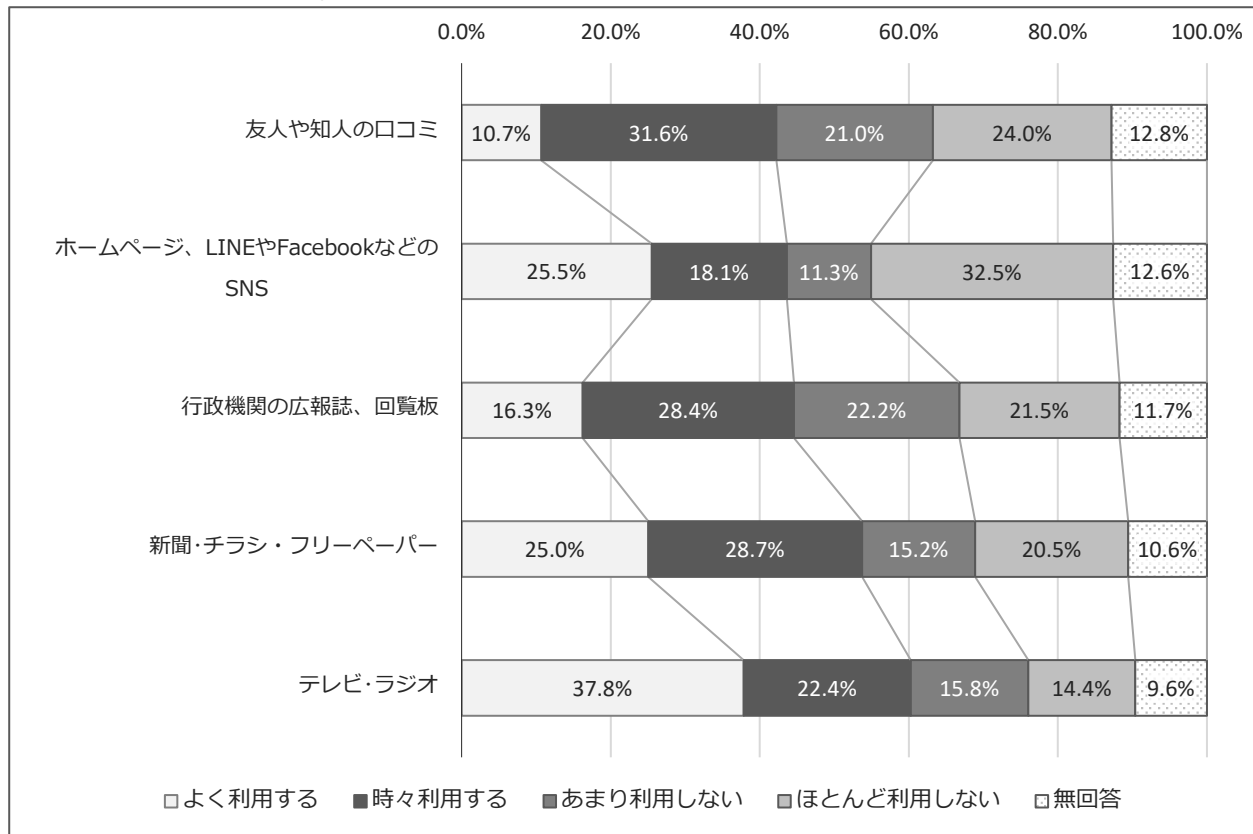
・国の政策（2名） ・仕事がないこと（2名） ・社会のしくみ（2名） ・政治の貧困（2名） ・社会構造（2名） ・1~4全てだと思います ・上記1~4が原因で一つにしほれない ・生きるための教育が足りないこと ・意識の持ちよう ・一部の人が富を独占しているから ・遺伝子 ・いろいろな原因 ・お金がないから ・お金に関する教育がなされないため ・学歴社会で子どもにお金がかかること ・家族が協力しないから（1人暮らしが多い） ・給料が安い、上がらない ・教育 ・国・地方自治体の政策不足 ・個人の能力の違い ・国のトップに居る人達の認識と価値観のズレ ・小泉内閣時の規制緩和（悪い） ・経済的な自立を手伝っていないから。国や自治体が ・自治体の対応時間に限りがある ・公務員に奉仕の気持ちがない（サラリーマン化） ・市の上部の職員は一般老人に関心がない ・コミュニティを形成する以上差は発生する ・収入や資産の多少による格差 ・仕事があつて、金をかせぐ、その機会があるかないか ・上記等総合的な原因（要因） ・自治体、個人、地域それぞれに努力、改善の余地があると思う ・政策の問題 ・社会において比べるのがあたりまえで、全員が共存できるわけではない。昇る人がいれば落ちる人がいる ・生活基盤となる収入が少ないため ・予算の運用がいまひとつ ・政治家やそこにつながる人ばかりが優遇されている。金銭面他いろいろなこと ・政治が悪い、お金を使うべきと頃に使っていない ・総理が悪い ・立場が上の人が下のことを考えていないから ・どちらも一方通行 ・日本経済の停滞による犠牲 ・日本の仕組み、雇用条件 ・日本は福祉国家ではないから ・働きたい人が働きやすい環境、理解が足りない ・必然 ・偏見 ・人が複数人居れば必ず生じる立場の差 ・予算など本当に必要としている人へ届いているのでしょうか？貧しい人弱い立場の人達と、その人達のことをどれくらい考え察してあげられるかが大切だと思います。そして手を差し出すこと

貧しい人や弱い立場の人がなくなる原因を聞いたところ、「社会の助け合いの意識が不足していること」が27.2%と最も多く、「社会福祉に関する自治体の予算が少ないこと」が19.7%と次いだ。

5 情報との接点

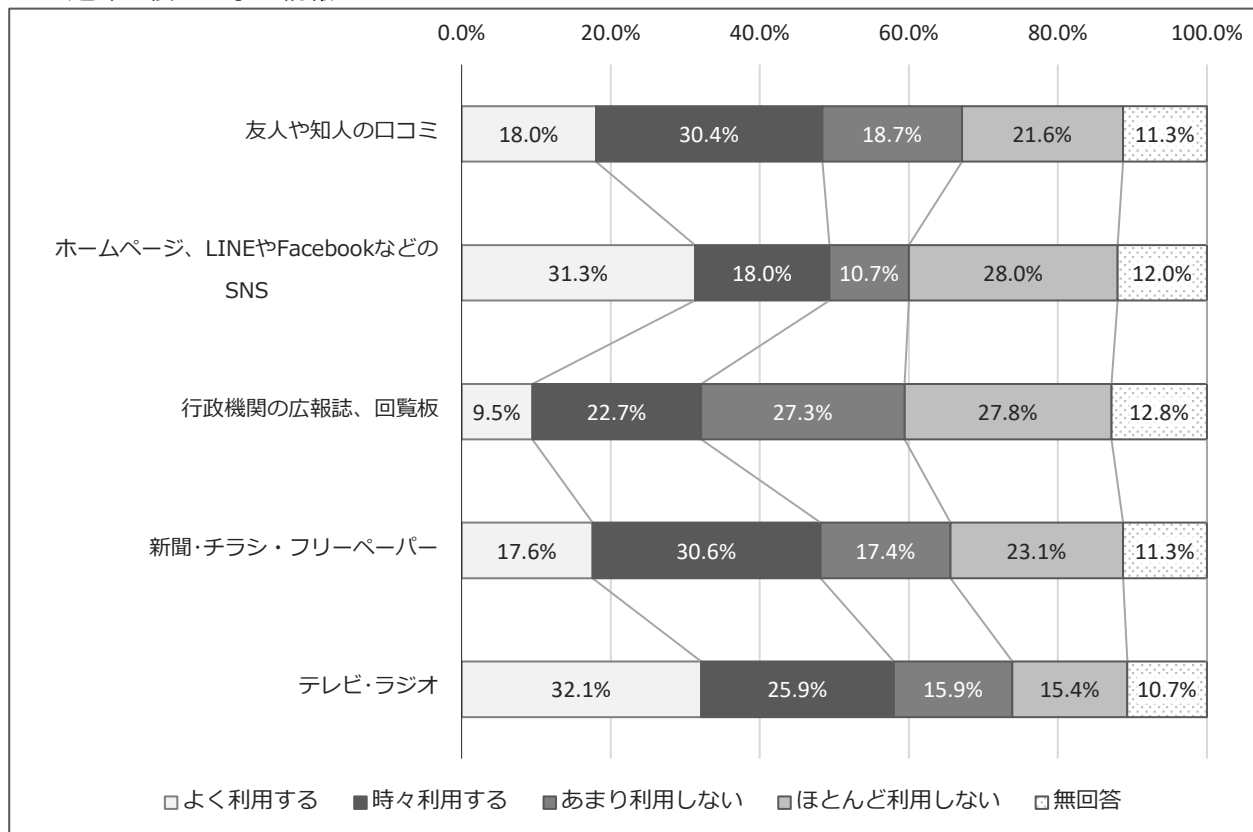
問17 あなたは、次の1から4に関して、どこから情報を手に入れていますか？

1 仕事に役立つ学び情報



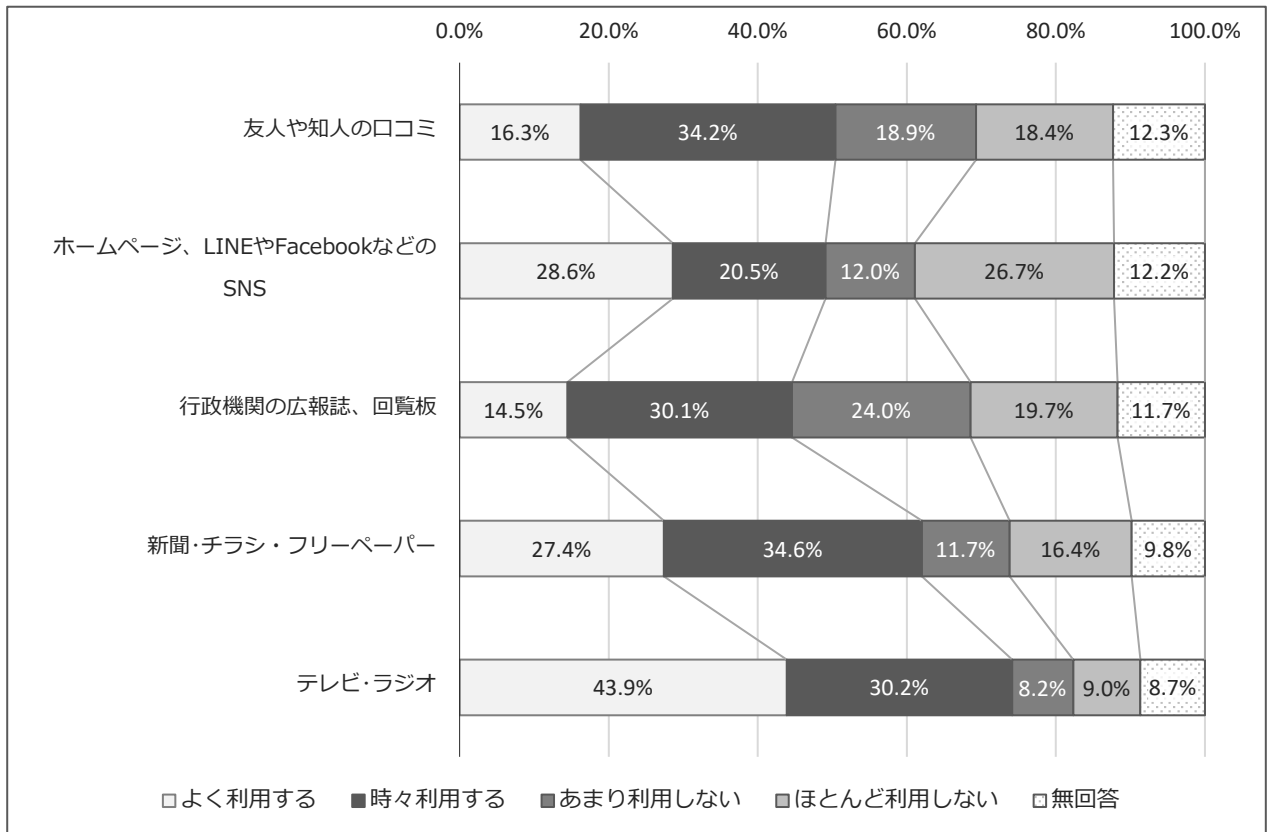
仕事に役立つ学び情報をどのように手に入れているか聞いたところ、「よく利用する」と「時々利用する」を合わせると、「テレビ・ラジオ」が60.2%と最も多く、「新聞・チラシ・フリーペーパー」が53.7%と次いだ。

2 趣味に役立つ学び情報



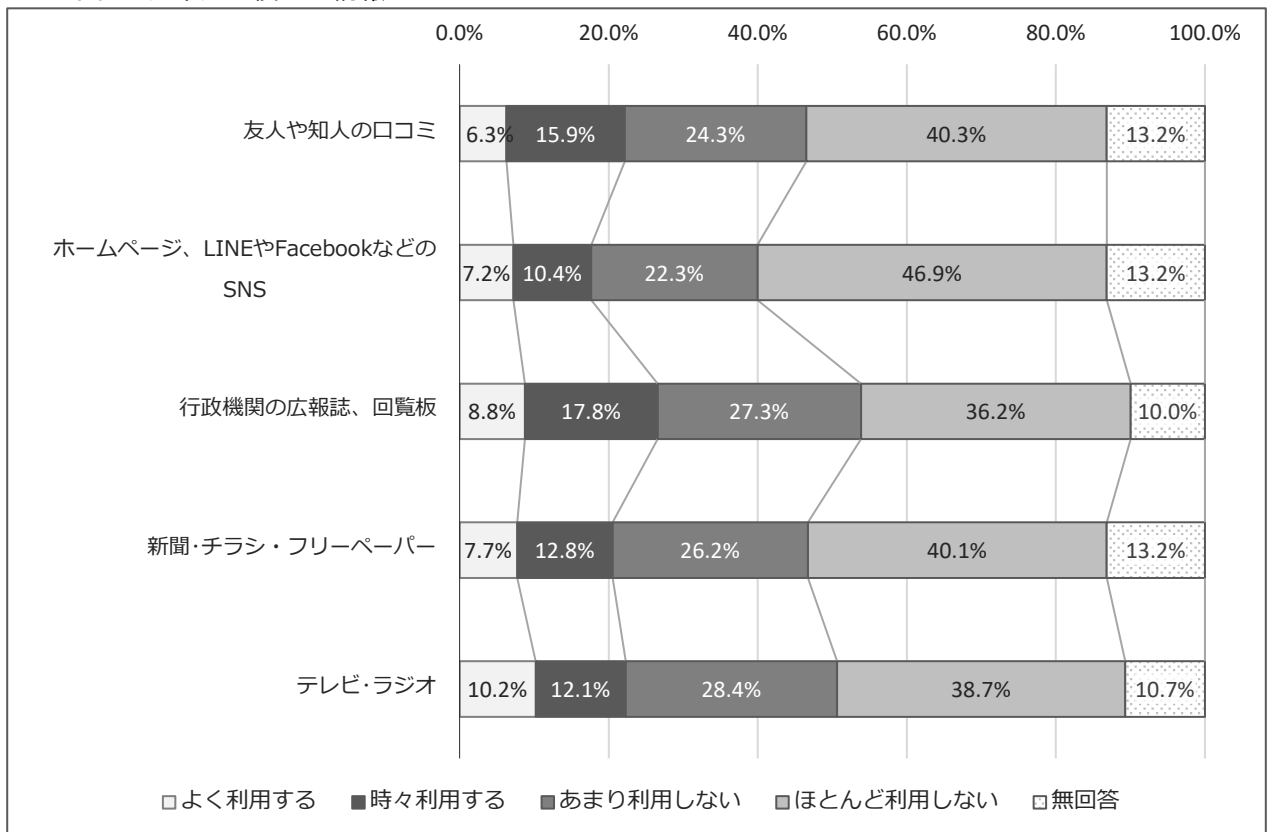
趣味に役立つ学び情報をどのように手に入れているか聞いたところ、「よく利用する」と「時々利用する」を合わせると、「テレビ・ラジオ」が58.0%と最も多く、「ホームページ、LINEやFacebookなどのSNS」が49.3%と次いだ。

3 生活に役立つ学び情報



生活に役立つ学び情報をどのように手に入れているか聞いたところ、「よく利用する」と「時々利用する」を合わせると、「テレビ・ラジオ」が74.1%と最も多く、「新聞・チラシ・フリーペーパー」が62.0%と次いだ。

4 ボランティアに役立つ情報

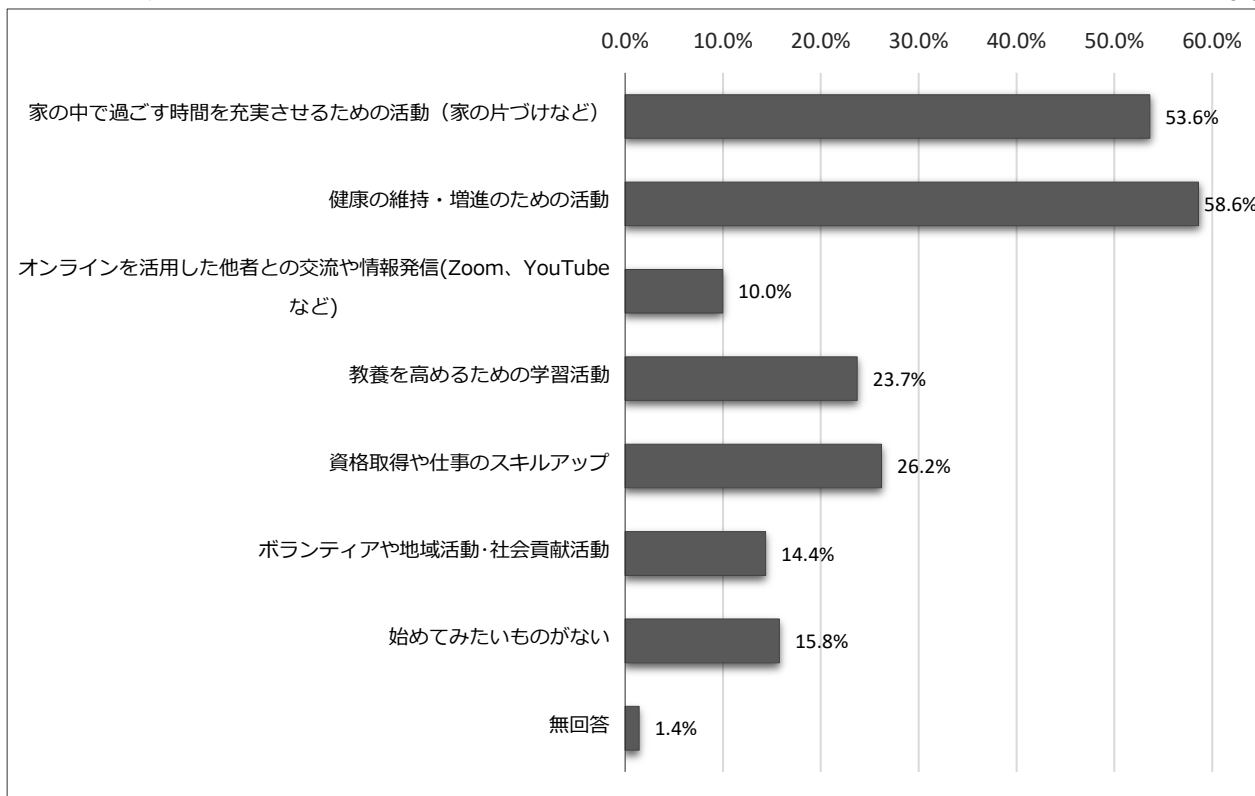


ボランティアに役立つ学び情報をどのように手に入れているか聞いたところ、「よく利用する」と「時々利用する」を合わせると、「行政機関の広報誌、回覧板」が26.6%と最も多く、次いで、「テレビ・ラジオ」が22.3%、「友人や知人の口コミ」が22.2%であった。

6 新しい生活様式など

問18 新しい生活様式が求められている現在、どんなことを始めてみたいですか？

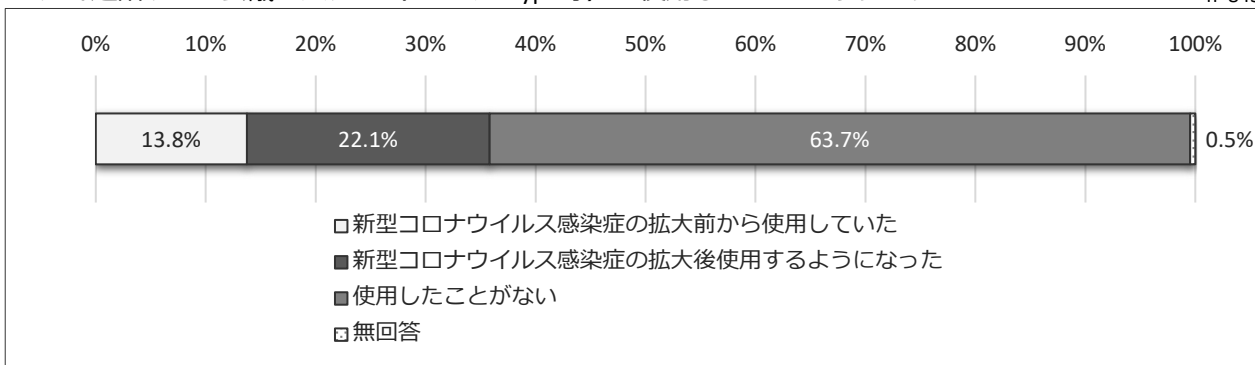
n=843



新しい生活様式が求められている現在、どんなことを始めてみたいか聞いたところ、「健康の維持・増進のための活動」が58.6%と最も多く、「家の中で過ごす時間を充実させるための活動」が53.6%と次いだ。

問19 ビデオ通話やWeb会議システム（Zoom、Skype等）を使用したことがありますか？

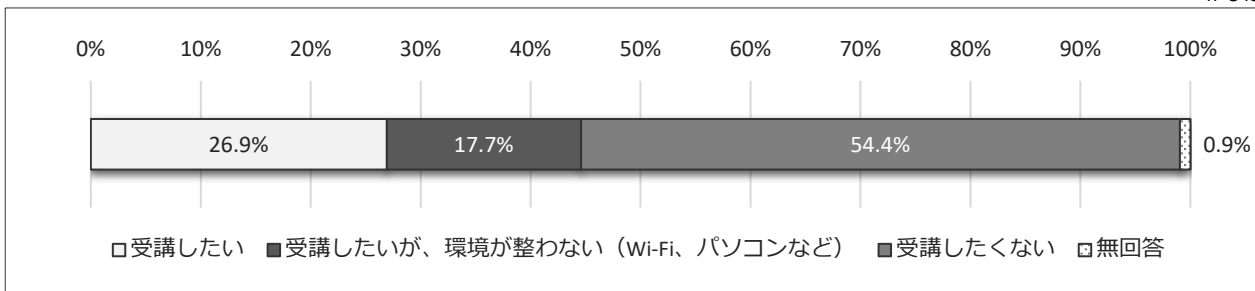
n=843



ビデオ通話やWeb会議システムを使用したことがあるか聞いたところ、「使用したことがない」が63.7%と最も多い。

問20 今後、ビデオ通話やWeb会議システム（Zoom、Skype等）を使用したオンライン講座を受講したいですか？

n=843



ビデオ通話やWeb会議システムを使用したオンライン講座を受講したいか聞いたところ、「受講したくない」が54.4%と最も多い。

問21 アンケート全般を通して、生涯学習や社会教育に関して、お気づきの点などをご自由にお書きください。

・公共施設でのヨガレッスンを受講したいと思ったことがあるが、働いている時間帯、平日の日中しか通えない設定。働いていない人しか通えない。予算、適当に配分して講座など催し物をやったところで役所のサクラの人が参加するようでは無駄です。

・20年前のことですが、その当時にオーストラリアとカナダに短期留学しました。年齢差のある方々が共に学びの場を提供したり、教会やコミュニティーセンター、商店街の一角を開放して学びの場を作っていました。大学等の教育施設が学生や卒業生に限らず地域の人々、または、弱者や障害者への自立援助のカリキュラムを組んで地域全体が一緒になって活動していた。

・62歳の今、自身の母親の世話をしており、今後夫の両親の介護がある状況のため、ボランティアや地域での活動、社会の役に立つ活動をする余裕はないと考えていましたが、そんな中でも自分にできることはあるか考える視点を持つていこうと思います。

・青森県は学習よりも生活を維持することでいっぱいの人が多いのでは？人生を豊かにする前に生活を豊かにしたいと思う人に、学ぶことによって、生活が変われる認識が必要だと思う。

・アンケートの質問で思ったことを書きます。30代始めの頃にやってみたい習いごとの見学に行ったのですが、その時先生から「今、流行しているから習いたいのか？」って言われ、年配の生徒さんの前で少しバカにしたように笑われてしまって以来、トラウマになって何年もやりたい気持ちになれませんでした。都会ではよくニュースで、何かブームになったりするとその教室の生徒が増えると聞いたりしましたが、本気で習いたかったので残念でした。知人から聞いた話では、同じ教室に通う高齢者の方々が絶対に意見を曲げないので、いつも若い自分たちが折れなければならないと、田舎特有の閉鎖的なところとか年上は何かなんでも見習わなければならないという考えが若い年代のやる気をなくしたりもあるのではと思います。転勤族の友人が趣味を20年ずっと続けて行っているのは、その地域の人たちがずっと受け入れてくれる環境を作ってくれたから続けて来られたと聞きました。私自身もとても刺激になる話も聞けるし、この地域の欠点だろうと思う参考になる話も聞けます。地元の人だけでなく、県外の人話はとても貴重な話だと思います。学ぶことも多いです。その地域で体験したことが今の仕事につながっているとかなどなど。仕事はこちらにないので、東京方面に就職を希望するようですが、実際は製造業生産の工場では若い人が入って来ないので、身体がきつなくても辞めたいのに辞められないというパートさんも多いようです。将来の地域のためには、やはり若い人たちに地元に残って生活ができるようになればいいなあと思っています。いろいろ日頃思っていることをずらずら書きました。なので、趣旨に合っていないかもしれせん。申し訳ありません。

・移動や人との接触が著しく低下している中で、如何に信頼関係や心の結びつきを深めていくのか課題となっていると考える。

・今、継続雇用で働いています。仕事が終わった後のことを考えると家に閉じこもりにならないようにしたいと思っていますので、学習活動は興味があります。

・今はコロナですのでダメだと思うのですが「何々があります、一緒に行きませんか？」と声を掛けられたことが一度もありません。

・いろいろな仕事をしてみたいけど…田んぼと畑が1年中忙しくて、思うようにはなりません。いろいろな活動があるのはいいことだと思います。ただ…知らない人たちと活動して事件に巻き込まれたりしないかと不安にはなります。

・各市町村が災害他発生するとボランティアを募集するが、自らやることがないのか？災害他発生前にしっかりした町づくりをしてください。

・学習活動は自分のためにも、他人のためにも必要なことだと思う。

・義務教育で「お金」「性」などについての教育がもっとされれば、変わると思う。

・教育委員会主催の学習会等に何度か参加させていただいたが、その時限りで後々につながったことがない。長期的視野で人材育成や市町村への貢献が期待できるプランを考えてみてはいかがか。

・教育に関する人員不足が続いていると思いますが、多くの優秀な人材がいると考えます。この時だからこそ、不特定多数に呼びかけるのではなく、一個人をたずねて教育への興味等を引き出す行動をする時ではないでしょうか。

・教育レベルの向上とともに、教育に力を入れることが青森県の将来に最も重要だと思います。

- ・今日現在、コロナ禍で経済的に不便を感じています。そんな中で生涯学習ボランティアなど余裕はありません。
- ・行政が考える企画は少し難しく内容がちゃんとし過ぎていて堅苦しい。もっと気軽に参加できるような企画内容が良い。
- ・興味があること、行ってみたい講座、集まりなど、たくさんの情報を得ても有休など取れず、見送っていることが多いです。
- ・教養を高めるための学習活動を積極的に実施したいと考えております。
- ・居住している村ではファミサポなどの支援がない。子どもとの時間は大切だが、子どもを安心して預けられる環境が欲しい。また、子どもを連れていけるのであれば連れて行きたい（教室やボランティアなど）子どもが歓迎されていない空気をいろいろな場所で感じる。子連れ大歓迎！とか託児所付き！みたいな教室やボランティアが欲しい。かみきたデンタルクリニックみたいに託児所付きだと病院にも行きやすいし、こういうのが教室やボランティアにもあるといい。家で学ぶにも子どもの相手があると連続で時間を確保できず、学びに集中できない。（個人の問題でもある）
- ・車の移動以外の学習の場が少ない地域の学習の場の設置をお願いしたい。子どもの少ない地域の学校後の学びの場の少なさ。（スポーツ、学習共に）
- ・健康の維持、増進のため活動。明るい教養を高めるため学習活動。
- ・現在考えること、学習、教育って何。小学校で学んだこと、何か役に立っているか。字が読めること。中学校、高校、大学とあるこの教育課程で一番たしかに学んだこと、小学校だけだと思う。いろいろなことが起きて、人の困ること、それを助ける過程で教えていないから今の時代ができたと思います。
- ・現在仕事をしていますが、人生100年と見ると健康で充実した時間を過ごすためには、学習が必要であり、社会貢献をしていきたいと考えています。コロナ禍でSNSが誰もが使いやすいように行政の政策を作っていただきたいと思います。
- ・現在の私は畑仕事生きがいのようなものです。畑で仕事している人とおやつ食べて、いろいろ野菜作りのことを話をするのが好きです。今は、文章を読んでも理解できない点も多くなってきています。今回のアンケートの内容は今の私の年齢だと背伸びしてもなかなか難しいですね。
- ・講座に会場へ行って参加することはコロナ感染する怖さがあります。また、費用なども発生すると思いますので現状の生活では学ぶ事は無理です。ビデオ通話システムを準備することもできません。仕事をするだけで精一杯です。生活しやすい青森県になって欲しいです。
- ・公民館活動に参加した頃もあったが、今は体力面でも減退して長続きできなくなりました。近所の方とテレビ雑誌から情報を学び、趣味を楽しんでいます。
- ・高齢者にもできる農業の充実を図っていただければ助かります。
- ・個人的にイラストレーションを通信講座で学んだがそれ時点で止めている。そのための作業を余生で生かすために根本的に考えたい。
- ・今年70才を迎え、身体の調子も良くないので（病院通い）したいことに意欲がわいてこないです。でも、孫（小学生）と一緒に暮らしているのでせめて健康になったら趣味の方（仕事も）学習したいと思っています。まだ大丈夫でしょうか？
- ・コロナウイルスが流行らなくても、最近の若い方はあまり汗をかいて人に対するボランティア活動は40年前に比べて意識が少なくなっていると思います。
- ・最近コロナの影響もあり参加できていませんが、いろいろな講座に出るのを楽しみにしていました。年齢を重ねるほど、まわりが狭くなりがちなので生涯学習は必要不可欠だと思います。その点では、オンライン講座はあまり私たちの年代にはそぐわないような気がします。ボランティアについてはやってみようという方が多いとは思いますが、どこからどう始めればよいのか、一歩踏み出しが分からないような気がします。ポイントカードのような物とか、どんな物があるのかなど、発信がもっと必要ではないでしょうか。
- ・仕事が忙しく生涯学習や社会活動をしたくても気力も体力もない。時間的余裕もないため、もっと地方でも週休2日が定着し、また、経済的にも安定すれば生涯学習等に取り組むことができるかもしれない。

- ・仕事を中心の生活になっているので、今回のアンケートで少し興味がわきました。情報に少しずつ目を向けていきたいと思えます。
- ・仕事をしていれば、テレビ・ラジオからの情報を得るのがほとんどだと思えました。コロナ禍で職場での研修会、講演会など中止となっています。また、日時決まっても場所が未定などとなっています。必要なもの、学校での勉強、公開講座など、予定されたものはビデオ配信などして施行した方がよいと強く思います。
- ・仕事で時間がなく、学習や地域に関することについて考えることがなかったと思った。
- ・仕事や家事育児の合間に行くことはとても大変であり、強い意志が必要だと感じました。
- ・仕事を退職したら、何かボランティア活動してみたいと思っています。
- ・仕事を離れた現在、時間にはゆとりができたとはいえ、住む地域が変わり、今いろいろ考えているところです。何についても全て家族の協力と理解が必要だと思い悩んでいることも事実です。
- ・自分の興味を持てるもの、やりたいことが見つけられる環境がなかなか整わない。また、やりたいことがあっても、仕事などでやっている状況にないのが現実である。自分なりのスピードでやっていくつもりではあるが、今はその時ではない。
- ・自分の生活でいっぱい입니다。
- ・自分は社会の現役活動を卒業し、町内会活動を支援する老人会の活動に参加させてもらってます。老人会といっても70前後の人たちの集まりで、皆さん若々しくまだ現役でも…と思われる人たちばかりです。1人で老後を楽しむよりも、仲間と一緒に清掃やゴミ拾いなどの環境活動（小学生と一緒にのときもある）をしたり、名湯を巡る湯治旅や花見、盆栽まつり等を見たりするのも仲間とならとても楽しいものです。これらの楽しい活動への参加を誘導するような公的機関のプレス活動がない訳ではないが、少ないと思う。このプレス活動の内容によって理解を深めてもらえば心を開いた人は（数はともかく）参加してくると思うが、どうか？
- ・市民センターなどの講座を受けたいが、平日開かれるものが多く、ぜひ土日でもやってもらいたい。
- ・社会、地域での奉仕活動が重要であることは十分認識しているが、少しでも生活を向上させ安定させるため仕事時間を多くし働いている人が周囲でも多くおり、時間的な余裕を持ってないのが現状です。企業自体がブラック企業が多く、サービス残業、有休休暇は1日も取得できない、ハラスメント等が多く、社会、地域への貢献活動をやるという気持ちにはなれない。
- ・社会的な参加もボランティアも健康な身体が一番基礎になると思います。そのためには自分の身体は自分で守ることを若いうちから心がけ「短命返上」「医療」「食事」等に関心を持つ社会構築が必要だと思います。老人化社会になりつつある今、高齢者も自分ができることは進んでやる気合を持ち、外出する機会を増やし、多世代が集う場所、地域の交流の場所をもっと増やしていただき「地域のにぎわい」「子どもの育成」「高齢者の健康づくり」等、つなぎ助け合う社会になることを望みます。
- ・術後、体力が弱くなり、毎日体づくりのため、ウォーキング・水泳等をしているが、精神面で前向きに生きて行くことが弱くなっている。術後は単発では行政関係の勉強会に入ったりしました。
- ・主婦で今、仕事をしていないですが自宅で収入を得られるようにもっといろいろな仕事の幅が増えたらいいなと思えます。Zoomで化粧品のセミナーに参加して、収入がもらえたりするのが増えて欲しい。コロナが拡大したら、子どもはオンライン授業で勉強の遅れが出ないように頑張ってもらいたい。
- ・主婦でも家にいながら仕事ができる時代が来たのではないかと、通信による学習もしましたが、そこからどうやって仕事あるいは地域に貢献できるかが分からず、一歩が出せないでいます。ここからの一歩を踏み出せるお力や情報をもっとあったらと思えます。
- ・趣味の講座などで、例えば美術関係等では中央から先生を来青していただき県が率先して講座を開設していただくことを希望します。中央が無理な場合は、青森県内の先生に講座をお願いします。
- ・生涯学習、活動したい気持ちはありますが、今は生活に追われて余裕がありません。（時間、気持、金銭的に）
- ・生涯学習などにも参加したりするが、逆に自分の能力のなさ、力不足を感じてしまう。

- ・生涯学習や社会学習といったものは経済的、時間的余裕があって初めてできるものと思います。個人的には仕事と子育て、家事でそこまで手が回らない（やりたくてもなかなかできない）のが現状です。
- ・生涯学習や社会教育がもっと身近で行きやすいものになっていけばいいですね。
- ・生涯学習や社会教育に関心はあるが、生活環境、身体的なものから、なかなか実行が難しい。オンライン等も若者が身近におらず、高齢者だけだと操作がうまくできず、あきらめざるを得ないです。今やっていることを、できる範囲の中で続けていきたいと思っています。
- ・生涯学習や社会教育の活動に参加してみたいと思うが、知らない人たちの中に入って行くのが難しい。遠くで開催されると交通の便が悪くて行けない。
- ・生涯学習や社会教育の情報につきましては、広報誌等で知りますが、いつも素晴らしい取り組みだと感心いたします。平和な社会だと思います。
- ・情報を入手する手段が機器を使用することが多くなり、その環境にない人は取り組みが進まない。また、情報を入手しても、移手段の弱者（車がないなど交通弱者）はなかなか参加できない。
- ・新型コロナウイルス拡大の影響で家で過ごす時間が増え、部屋を片づけることが多くなった。何年も使っていない物がたくさんあり無駄なお金を使っていたと反省することができたと気付く機会となった。
- ・新型コロナウイルス感染症の終息を願っております。
- ・自治体で気軽に参加できるパソコンの使い方やオンライン講座など開いて欲しい。できたら無料で誰でも参加できるような環境を作って年齢差や経済的理由で学べないということのないように、生涯学習を充実させて欲しい。コロナ禍や高齢者社会に向けて対策が必要だと感じている。
- ・生活習慣にマッチした勉強会などあればいいのですが。たとえば、近場でできることなど。
- ・生活上の人間、子どもも含む他人の話を聞いて、あの人はと言うことを信用している人たちは私は私は大嫌いです。その前に友達がいないのかな。
- ・他市より越して来ました。参加してみたいと思うものがあっても遠過ぎてあきらめています。楽しめる情報がたくさんあって欲しいと思います。
- ・テレビラジオを利用していないことが分かった。⊕テレビラジオで報道されないことをYouTubeといった動画配信サイトで見ることで詳しい情報を知ることができている。⊖社会の情勢、経済等に興味がないためにテレビやラジオを利用せず、スマートフォンで好きな時間に好きな情報、知りたい情報を見ることでその他の情報を補っている。だから、生涯学習や社会教育を若者に落とし込むには、LINE、twitter等のアプリケーション広告を（確実に信憑性のあるもの）を出す必要があると思った。そうすれば目を通すきっかけになると思う。
- ・何をやるにもお金と時間が必要です。超低賃金フルタイムで車もないため、今の生活を変えられない氷河期世代非正規はあふれています。青森は特に現役世代への支援がないと思っています。年齢に関係なく学習ができて、その後の生活に期待できるような環境ができることを願っています。
- ・年間を通して受診日の他は全く外出しないので良く分からない。
- ・一人ひとり体験して学ぼう。ただ楽しくやりたい（他者のルールではなく自分なりに自分を素直に正せよ）あらゆることがオープンになること。
- ・ボランティアなど社会貢献をしたいと思うが、きっかけがなく実行できていない。現在、親の介護と仕事の両立で、時間にあまりゆとりがないのも原因となっている。今後、行政の方にもいろいろと情報を提供してもらい、時間が来たらボランティア活動など積極的に参加したい。また、地域の人たちとの関わりもほとんどなく寂しい気もする。コロナのせいもあるが、町内会の集まり＝年寄りの集まりというイメージが強く気が進まない。
- ・まずは自分のための自由時間をつくる必要がある。そのためには働き方を改革してもらえる社会が必要である。
- ・娘をとおして社会の事情を得ている。自分で創意工夫して、あまり他者に依存しない。

・若い時代に学習時間の減少や学力低下を受けていると、いくら大人になってもそこから学習を始めようとは思わないと思う。スマホやネット社会でも良いが、学ぶ時間や範囲はある程度昔のように確保しないとけないと思う。

・私は20年以上主人の病気と（精神的な）向き合ってきたのですが、長い間病院に通ってきて、心の病をかかえた方の多さにおどろきました。そしてそれを支える家族の苦しみも見てきました。主人が亡くなってやっと自分の自由な時間ができた今、自分のこれからの人生を豊かにしたり、ボランティア活動も大切かもしれません。しかし、自分の身近な所で、もすごく心の病で苦しむ人が多いので、声を掛けて話を聞くこと、自分が苦しかった時、人にそうやって助けてもらったことをお返しする気持ちで自分の人生を豊かにしていきたいと思っています。

・子どもが小さいときは子育てに関するイベントなどで公民館を利用することがたびたびあったが、最近は利用する機会がなくなった。

・特になし（17名）

○アンケートに対する意見

・アンケート対象者の選択方法を記載して欲しい。突然郵送されていたが、今の世の中、どこでの情報で送られてくるのが協力依頼するのであれば明確にしてほしい。

・本アンケート対象者がどのような経緯、または理由で決まったのか、簡単な説明はいただきたかったです。

・アンケートの内容は理解できるが、このコロナ禍の中、この1年で…というのは、外出を控えてるこの時期に？違和感を感じました。

・私のような年寄りにアンケートを送ってきても役に立てない。もう少し若い人を対象にした方がいい。

・こんなアンケートで何がわかるのかギモン！！

・印刷が切れていて気になりました。（問17-3）